

若者に夢と希望を与える次世代リーダーを表彰 「第8回若者力大賞」受賞者決定のお知らせ

公益財団法人日本ユースリーダー協会（本部：東京都港区・会長：三村 明夫・1969年設立）
（<http://www.youthleader.or.jp/>）は、「第8回若者力大賞」の受賞者を決定いたしました。表彰式は、下記のとおり、2017年2月21日（火）に開催いたします。当日のご取材につきまして、何とぞご出席を賜りたくご案内申し上げます。なお、表彰式には一般の方々の参加を募っております。本表彰式の社会性を鑑み、読者や視聴者の方々へのご案内につきまして、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「若者力大賞」は、若者ならではのパワーと使命と行動力をもって、社会のための貢献活動に取り組んでいる20代・30代の次世代リーダー、及び、その指導者（個人・団体）を表彰することにより、次世代育成に対する社会的な関心を高め、同時に次に続く若い世代に、夢と希望とを与えることを目的として、2009年度からスタートいたしました。今回もすばらしい活動をされている5名（組）の受賞者を表彰いたします。

「第8回若者力大賞」表彰式・交流会

日 時：2017年2月21日（火）17：00～19：30（16：30受付開始／17：00開演）
会 場：六本木ヒルズハリウッドプラザ5階「ハリウッドホール」（東京都港区六本木6-4-1）
式 次 第：1. 主催者挨拶 2. 審査委員紹介 3. 審査結果発表
 4. 表彰式 5. 記念撮影 6. 交流会
参 加 費：一般5,000円 学生1,000円（交流会含む） ※報道関係者の方はご招待
定 員：先着300名
申 込 方 法：ホームページ（<http://www.youthleader.or.jp/>）
 またはFAX、メールにてお申し込みいただけます。
主 催：公益財団法人 日本ユースリーダー協会
協 力：学校法人メイ・ウシヤマ学園 ハリウッド大学院大学

公益財団法人日本ユースリーダー協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル5階
TEL：03-6441-0581（代） FAX：03-6441-0582
MAIL：day@youthleader.or.jp （担当：加藤・林・丸山）

第8回 若者力大賞 受賞者一覧 (敬称略、年齢は発表日時点)

◇若者力大賞 (1名)

ジギャン・クマル・タパ / かながわ国際交流財団職員・37歳



1979年ネパール生まれ。37歳。
かながわ国際交流財団職員・駐日ネパール大使公式通訳。
幼少のころJICA職員がホームステイしたことで日本に興味を持ち、2000年に秀明大学(千葉県)へ留学のため来日。2009年横浜国立大学大学院博士課程(国際開発)単位取得後、公益財団法人かながわ国際交流財団に就職。
「ネパールと日本のかけ橋となること」を自身のミッションとし、かながわ国際交流財団において、学生の外国に対する理解を深めるプログラム企画立案や講演活動などで外国へ興味を持つきっかけを作ることに従事。個人の立場では、神奈川県地方創生推進会議の委員として政策提言・調査研究にも携わっている。
2011年東日本大震災での復興支援活動では国籍を問わない「外国人バス」を出し、現地でネパール料理をふるまい支援した。2015年ネパール大地震では、日本の政府・自治体・メディア等に支援を広く呼び掛け、現地での支援活動をした。また、2016年4月に発生した熊本地震でも現地支援に携わり、震災を経験した両国の子どもの交流を図るため「たまごプロジェクト」を立ち上げ、子どもが成長する手助けをしている。

◇ユースリーダー賞 (2名)

織田 友理子・洋一 (おだ ゆりこ・よういち) / NPO法人PADM代表・共に36歳



共に1980年生まれ、36歳。
2002年、友理子さんは進行性筋疾患である「遠位型ミオパチー」と診断される。(当時大学4年22歳)2008年、彼女は発起人の一人として任意団体遠位型ミオパチー患者会(PADM)を設立し、2015年からはNPO法人PADM代表に就任。遠位型ミオパチーに有効な物質が発見されたのを契機に多くの製薬会社に働きかけ、現在日米の製薬会社が新薬開発に取り掛かっている。また彼女の働きかけで遠位型ミオパチーは、2015年から国の指定難病と認められた。さらには、遠位型ミオパチーだけの特例対応ではなく、ウルトラオーファン(患者1000人以下)に対するアプローチ、手続きの迅速化のため、厚生労働省や国会議員への働きかけを続けている。また、神経筋疾患分野の国際的組織(TREAT-NMD)の委員としても活動をしている。
「人のために尽くせる幸せな人になる」という思いから、支援者を増やすことで社会が変わることを信念としている。「みんなでつくるバリアフリーマップ」開発の構想が認められ、Googleインパクトチャレンジでグランプリを受賞した。社会的な認知を高めるため講演や執筆活動も行っている。また、内向きになり、社会との接点を失う傾向にある車いすの人向けにYouTubeチャンネル「車椅子ウォーカー」で、自身が経験した国内外バリアフリー旅行の情報などを発信している。そして、すべての活動には夫である織田洋一氏の大きなサポートがあり、「一緒に居ることで不思議な体験が出来、一緒に活動することが楽しい」と前向きな考えを語り、子育てと友理子氏の活動を、一心同体で支えている。

◇ユースリーダー賞

花柳 琴臣（はなやぎ ことおみ） / 日本舞踊家・34歳



1982 年生まれ。34 歳。日本舞踊家・演出家

22 歳のときに入院生活を経験し「生かされている」という思いを抱き、支えてもらっている方々に踊りで返したいと強く思うようになる。

現在は、岐阜県高山市、白川村の小中学校を中心に、小中学校で日本舞踊を通し礼儀作法を教えるワークショップに携わり、「子どもたちが日本から羽ばたいたときに日本人らしさを出せるように」という思いで接している。

中高生に向けた学校の吹奏楽部では、日本舞踊隊やマーチング指導をし、日本の伝統を身近に感じるきっかけ作りをする大きな成果を上げている。

表現者としては、日本舞踊の枠だけにとどまらず、モダンバレエや和太鼓とのコラボレーションで、日本伝統文化の普及に尽力している。

自身の出身地である東京都北区の「さくら SA-KASO 祭り」の実行委員長を務め、舞台演出や地元産業を中心とした出店プロデュースで実績を積んでおり、今後は自らユースリーダーとしてだけでなく、ユースリーダーを支援する立場となることを目標としている。

◇ユースリーダー支援賞（個人部門）（1名）

藤沢 烈（ふじさわ れつ） / 一般社団法人RCF代表理事・40歳



1975 年生まれ、40 歳。一般社団法人 RCF 代表理事。

2011 年 4 月、東日本大震災復興に向けた調査を行う団体として RCF 復興支援チーム[現(一社)RCF]を発足させる。住民・自治体・企業・プロジェクト団体の間に入り、それぞれのニーズを調整する復興/社会事業コーディネーターとして活躍。

大震災が発生してから数カ月経ち支援活動をする団体が減少し始める中、RCF は企業や地方自治体のディスカッションパートナーとなり、事業推進や事業企画、政策提言を通じて復興活動をサポートしている。特に、大震災の緊急支援だけでなく長く続く復興支援に重点を置き、近年は自身の復興支援経験で得た知見を活かし、東北・熊本以外の地方創生にも取り組んでいる。

2015 年は地方創生の制度づくりに尽力し、国から 120 名程度の若い副市長を人口 5 万人以下の地方自治体に派遣する「内閣府地方創生人材支援制度」の策定をサポート。

今後は、若い人を育てる・教えるだけでなく、一緒に考えられる立場になってユースリーダーの育成を目指す。

◇ユースリーダー支援賞（団体部門）（1組）

NPO法人ACE（えーす） / 代表 岩附 由香



NPO 法人 ACE 代表岩附由香氏 1974 年生まれ、42 歳。
岩附氏は、大学時代に旅した途上国で児童労働を目の当たりにし、問題意識が芽生えた。1997 年に「児童労働に反対するグローバルマーチ」を日本で実施するために作った団体が NPO 法人 ACE の始まりである。ACE はインドではコットン産業に焦点をあてたピース・インドプロジェクト、ガーナではカカオ産業に焦点をあてたスマイル・ガーナプロジェクトを立ち上げ、これまで 23 のコミュニティで 1,520 人の子どもを危険な労働から守り、13,123 人の学齢期の子どもの教育を支援してきた。子どもの教育環境の改善や就学支援だけでなく、地域の大人に働きかけ、親に教育の重要性を伝えるだけでなく、収入向上や農家のための有機栽培のトレーニング等を通じ、住民の意識を変えてプロジェクトの効果が長く続くよう「ハードよりソフト」の支援を続けている。また、ガーナのプロジェクト地域でとれたカカオを使った国際フェアトレード認証マークのついたチョコレートの販売も連携企業を通じて実現した。国連「持続可能な開発目標」の中に、2025 年までにあらゆる形態の児童労働をなくすことが目標に掲げられた。ACE はこの目標達成に向け、政府、企業、市民への働きかけを強め、活動を通じ、「児童労働のないエコシステム」の実現を目標に掲げている。

参考資料

■ 公益財団法人日本ユースリーダー協会について

国際的なユースリーダーの育成を目的に1969年に設立。次代を担う若きリーダーの育成・支援・啓発などの事業活動を通じて、若者が活躍できる社会を創ります。

◇ 団体概要

名称 : 公益財団法人 日本ユースリーダー協会
代表者 : 会長 三村 明夫 (新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長)
 理事長 井上 義郎 (川崎重工業株式会社 元取締役副社長)
設立 : 1969年7月1日 (※公益財団法人: 2012年4月1日)
所在地 : 〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル5階

■ 「若者力大賞」について

◇ 各賞の説明

<若者力大賞>

下記3部門の中から、特に顕著な活動成果をあげている個人又は団体

<ユースリーダー賞>

若者ならではの自由な発想と強い使命感をもって、社会的活動に取り組んでいる次世代リーダー

<ユースリーダー支援賞(個人部門・団体部門)>

若者の持つ才能を見出し、育み、伸ばす事で次世代リーダーを育成している優れた指導者又は団体

第1回～第7回の「若者力大賞」受賞者(敬称略)

第1回	MISIA (歌手)	田中 将大 (プロ野球選手)
第2回	山口 もえ (タレント)	栗城 史多 (アルピニスト)
第3回	村田 修一 (プロ野球選手)	
第4回	平原 綾香 (歌手)	
第5回	宇佐美 吉啓 (パフォーマー/EXILE USA)	
第6回	道端ジェシカ (モデル)	
第7回	倉木 麻衣 (歌手)	

◇ 審査方法および選考基準

自薦他薦による応募の中から、外部有識者を中心とする審査委員会によって選考される。選考基準として、<ユースリーダー賞>では社会的な使命感の強さ、行動力、ユニーク性、将来性、若者への影響力などの項目。<ユースリーダー支援賞>では広く社会での活動、キャリア支援の実績、ユニーク性、波及性などの項目が設定され、客観的かつ厳格に審査される。<若者力大賞>は両賞の中から特に評価の高い活動、実績をあげているリーダーに授与される。

◇ 審査委員(敬称略)

三村 明夫 新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長/当協会・会長(審査委員長)
西尾 進路 JXホールディングス株式会社 名誉顧問/当協会・副会長
山中 祥弘 学校法人メイ・ウシヤマ学園 理事長
橋本久美子 橋本龍太郎元首相・令夫人
蛭田 史郎 旭化成株式会社 相談役



「第8回若者力大賞」表彰式・交流会申込用紙

FAX 03-6441-0582

MAIL : day@youthleader.or.jp

■日時：2017年2月21日（火）17：00～19：30（16：30受付開始）

■会場：六本木ヒルズハリウッドプラザ5階「ハリウッドホール」（東京都港区六本木6-4-1）

誠にお手数ですが、必要事項をご記入の上、2月15日（水）までにご返信いただけますようお願い申し上げます。

ご出席

ご欠席

撮影：有 無

（ムービー／スチール）

貴社名

貴媒体名

お名前

ご出席予定人数

名様

お電話番号

E-mail

通信欄

「第8回若者力大賞」表彰式・交流会

●会場案内図：ハリウッドホール

(東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ5階)



<最寄り駅・最寄りバス停>

●地下鉄

- | | |
|-----------------|----------|
| 東京メトロ日比谷線「六本木駅」 | 1 C出口直結 |
| 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」 | 3番出口徒歩3分 |
| 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」 | 5番出口徒歩6分 |
| 東京メトロ南北線「麻布十番駅」 | 4番出口徒歩8分 |



●バス

- | | |
|----------------------|---------------|
| 都バス 01系統（渋谷・新橋） | 六本木バス停下車1分 |
| 港区ちいばす（田町駅前・赤坂見附駅循環） | 六本木ヒルズバス停下車0分 |